



めざせ
ぜんもんせいかい
全問正解

道後のひみつ

どうごおんせんほんかん へん
道後温泉本館編



しめい
氏名:

せいかいすう
正解数

/ 3



問1

道後温泉にはシンボルが2つあります。
ひとつは道後温泉本館の瓦や周辺の街灯、看板等に
使われている「湯玉」。もうひとつは何？



ヒント:

ほんかん たてもん うえ の
本館の建物の上に載っているよ。

こた
答え:

問2

道後温泉本館にある、日本で唯一といわれる皇室専用浴室
「又新殿」ですが、過去に何回、皇族の方が入浴されたでしょう？
下の3つから選んでください。



①10回 ②30回 ③50回

こた
答え:

問3

道後温泉本館の屋上にある、赤いギヤマン窓の振鷲閣では
午前6時に6回、正午に12回、午後6時に6回太鼓を鳴らします。
この太鼓を何というでしょう？



ヒント:

じこく し たいこ
時刻を知らせる太鼓です。

たいこ
○太鼓

こた
答え:

道後温泉本館 冒険者心得

- 一、道後温泉本館に入浴して、公衆浴場として日本初の重要文化財を体感してみよう。
- 一、浴室等に入るためには、入浴料が必要です。



答え 1 白鷺



白鷺が道後温泉を見つけたという伝説が残っていることから、道後温泉のシンボルマークとして親しまれています。道後温泉本館が改築された明治27年当時は、北側を玄関として使っており、お客様を迎えるため、道後温泉本館の白鷺は北側を向いています。

答え 2 10回



明治32年に、日本で唯一といわれる皇室専用浴室・又新殿が建築され、これまで大正天皇や昭和天皇など皇族の方に10回のご入浴をいただいています。

答え 3 刻太鼓



朝6時、刻太鼓を合図に道後温泉本館の営業を開始します。道後温泉本館ができた、明治27年から続いているこの太鼓の音は、平成8年に「残したい日本の音風景100選」に選ばれています。ぜひ、道後温泉本館あたりで聞いてみよう！

道後温泉本館について

道後温泉は約3000年の歴史を誇る日本最古の温泉と言われ、足を痛めた白鷺が湧き出る温泉で傷を癒したことが起源とされています。道後温泉本館は、明治27年に改築された公衆浴場で、数度の増改築を繰り返しながらも改築当時の姿を留めています。その歴史的価値が評価され、平成6年12月に公衆浴場で初めて国の重要文化財に指定されています。また、平成21年には、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで最高ランクを獲得するなど、国内外から評価されています。

3階には、松山在住時代の経験を基に書かれたといわれる小説「坊っちゃん」の舞台となるなど、道後温泉と関わり深い小説家・夏目漱石ゆかりの「坊っちゃんの間」もあります。



神の湯(男湯)



神の湯(女湯)



神の湯2階席



坊っちゃんの間

ホームページには、他の種類の「道後のひみつ」もあるよ！調べてみてね。

道後温泉事務所 キッズ

検索

<https://www.matsuyama.ehime.jp/kids/work/kakuka/sangyokeizaibu/kids.html>